

## リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド 2018年度第4四半期 決算報告および事業概況

2019年1月28日Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は、2018年度第4四半期の決算を発表しました。社長兼CEOアナ・マニングのメッセージは以下の通りです。

「2018年度第4四半期も事業地域・商品ラインにおいて多様化した収入源を有するグローバルなビジネスモデルが功を奏し、堅調な実績を収めました。欧州・中東・アフリカからなるEMEA地域、アジア、およびカナダの事業が好業績を収め、米国のトラディショナル・セグメントおよびオーストラリアにおいて低迷した業績を相殺しました。保険料収入は12%増加し、2018年度第4四半期も相当な資本を配備しました。

2018年度通期ベースの業績を振り返ると多くの出来事がありました。EMEA地域およびアジアにおける事業は堅調な業績が続き、全般にビジネスが成長し、大規模な資本の配備も行いました。

当社は強固な資本ポジションを備え、魅力的な既契約ブロックの取引を多数実行し、積極的な自社株買戻しプランを通して資本効率を管理しました。2018年度は既契約取引に約4億4000万ドルの資本（第4四半期における2500万ドルを含む）を配賦しました。取締役会は、これまでの予算枠に代わり、新たに4億ドル自社株買戻しの予算枠を承認しました。当社の余剰の資本は年末時点で約10億ドルに上ります。

今後を見据えると、当社は魅力的な財務利益を挙げられる体制にあり、今後のビジネスチャンスに明るい見通しを持っています。定評のある戦略と長年の実績を基に、RGAは市場において適切な位置づけにあります。生命保険業界にはこれからも変化が続くことが予想されます。イノベーションの促進と専門性の強化を通して、RGAは、保険業界の課題やビジネスチャンスに対応するお客様に必要なサポートを今後もお提供して参ります」

取締役会は、四半期配当金0.60ドルを2月7日時点で株主名簿に記載のある株主に対し2月28日に支払うことを発表しました。

### **2018年度 第4四半期 決算報告\***

- 純利益は1億1000万ドル（前年同期12億1690万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は1.72ドル（前年同期18.49ドル）になりました。米国の連邦税制改革の税制優遇の影響を受けて、2018年第4四半期には約10億ドル（希薄化後一株当たり純利益15.71ドル）の増加がみられました。
- 調整済営業利益\*\*は、2億2180万ドル（前年同期1億7090万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は3.46ドル（前年同期2.60ドル）になりました
- 連結ベースの保険料収入（正味）は、為替の悪影響4380万ドルを受け、前年同期から12%増加し、25億ドルになりました
- その他の包括利益累計額を含む一株当たり簿価は134.53ドル、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価\*\*は124.39ドルになりました。

## 2018年度 通期決算報告要点\*

- 通期ベースの純利益は7億1580万ドル（前年度18億2220万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は11.00ドル（前年度27.71ドル）になりました。前年同期の実績には、米国の連邦税制改革の税制優遇の影響を約10億ドル（希薄化後一株当たり純利益15.71ドル）が含まれています。
- 通期ベースの調整済営業利益\*\*は、7億8900万ドル（前年度6億3260万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は12.12ドル（前年度10.84ドル）になりました

\*数値はすべて米ドル表示

\*\* GAAP 会計基準に準拠しない財務指標については注記をご参照ください

## 2018年度 第4四半期における事業の概況

- 2018年11月1日 RGA は、ジョン・ハンコック・ライフ・インシュアランス・カンパニーと年金保有契約ブロックの取引が完了し、多様な資産ポートフォリオを共に、30億ドルの法定準備金が RGA の事業会社へ移転していくことを発表しました。ジョン・ハンコックは保険契約の顧客対応および契約管理を引き続き行います。この取引は2018年9月26日に締結され、2018年7月1日が発行日になります。
- 同じく11月1日に RGA カナダは、カナダのユニバーサルライフの契約ブロックにおける死亡リスク、解約失効リスクを受再するマニユライフとの取引を発表しました。この取引は2018年3月に締結した同様な取引に続くものであり、9月に完了しました。この取引には、運用リスクは含まず被保険者リスクおよび保険契約者行動リスクが移転され、契約約13万件が含まれます。
- NMG コンサルティングが行った2018年再保険会社調査で、RGA は、カナダ、イタリア、ドイツ、ポルトガル、南アフリカ、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、日本、フィリピン、香港、マレーシアに加え、中東およびアジア、中東欧、EMEA 地域において、「Business Capability Index（再保険取引能力指数）」により国・地域別第1位を受賞しました。その他の市場およびグローバルを対象に実施された調査の結果は、2019年第1四半期に発表される予定です。
- 2018年10月10日 RGA は、フォーブス誌の2018年度ベストエンployヤー500社のリストにおいて97位に輝きました。このランキングは従業員からの推薦、および他業界一般の認識に基づいて選考されています。

- 2018年10月25日 RGA は、Efma・アクセンチュア共催の業界表彰である北米イノベーションにおいて、イノベーター・オブ・ザ・イヤーの銀賞に輝きました。これは北米におけるベストなイノベーションに与えられる賞であり、保険業界を通して優れたイノベーションに対する基準となっています。
- 2018年11月1日 RGA は、アジア・インシュアランス・レビュー誌が主催する年間表彰制度アジア・インシュアランス・インダストリー・アワードにおいて、イノベーションの促進とオピニオンリーダーとしての貢献、および保険業界のイメージや安定性、安全性の向上を高く評価され、「Life Reinsurer of the Year（生命再保険会社年間最優秀賞）」を2年連続で受賞する栄誉に輝きました。

各事業子会社について、以下の表に示す通り、第4四半期における財務力格付の変更はありません。

	<b>RGA Reinsurance Company</b> (主要事業子会社)	<b>RGA Americas Reinsurance Company, Ltd.</b> (バミューダに拠点を置き、事業をサポート)	<b>RGA Life Reinsurance Company of Canada</b> (カナダの事業子会社)	<b>RGA International Reinsurance Company dac</b> (アイルランドに拠点を置き、北米以外の事業をサポート)	<b>RGA Global Reinsurance Company, Ltd.</b> (バミューダに拠点を置き、北米以外の事業をサポート)	<b>RGA Reinsurance Company of Australia Limited</b> (オーストラリアの事業子会社)	<b>RGA Atlantic Reinsurance Company, Ltd.</b> (バルバドスに拠点を置き、事業をサポート)
<b>S&amp;P 保険財務力格付</b>	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	(格付なし)
<b>AM ベスト</b>	A+	A+	A+	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	A+
<b>ムーディーズ</b>	A1	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)	(格付なし)

当社の2018年度第4四半期決算報告の詳細内容は、当社ホームページ ([www.rgare.com](http://www.rgare.com)) の Investor Relations をご参照ください。

## RG Aの概要

2018年末時点で再保険引受保有額約3兆3000億ドル、総資産646億ドルを有し、RGAは、米国大手企業『フォーチュン500』にランキングする世界有数の生命再保険会社です。1973年の設立以来、リスク管理、資本管理、革新的なソリューションにおける高度な専門性、および優れた顧客対応において、高い評価を得ています。RGAは米国ミズーリ州セントルイスに本拠地を置き、世界各国で事業を行っています。個人生命再保険、第3分野再保険、団体生命再保険、財務ソリューション、任意再保険、および商品開発の分野で世界中のお客様をサポートしています。

当社および当社の事業の詳細内容は、当社ホームページ ([www.rgare.com](http://www.rgare.com)) をご参照ください。

## 注記事項

### GAAP会計基準に準拠しない財務指標について

当社は、調整済営業利益というGAAP会計基準に準拠しない財務指標を業績結果の分析に用います。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価も同指標に基づきます。調整済営業利益（税引前および税引後）は、キャピタル（ゲイン）ロス、および組込デリバティブの公正価値変動や関連する繰延新契約費の影響を受けないため、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。信用市場や金利環境を受けて、前述のキャピタル（ゲイン）ロス等は変動し得るものの、必ずしも当事業の業績を反映しないことがその理由です。また、調整済営業利益には、当社の現行事業を反映しない非継続事業の純利益（損）、および会計基準変更に伴う累積的影響は含まれません。調整済営業利益の定義は各社により異なり、GAAP会計の純利益の代用とはみなされません。

当社は、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価というGAAP会計基準に準拠しない財務指標を用いますが、投資や為替換算の時価評価調整に主に伴う未実現損益の効果を消去し、貸借対照表の評価を行う上で重要と認識しています。

希薄化後一株当たり調整済営業利益はGAAP会計基準に準拠しない財務指標であり、調整済営業利益を希薄化後発行済株式数加重平均で除して算定されます。調整済営業利益と同様に、同指標は、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価にも用いられます。

GAAP会計の純利益、一株当たり簿価、希薄化後一株当たり利益への調整については、下表をご参照ください。当社ホームページ ([www.rgare.com](http://www.rgare.com)) のInvestor Relationsページには、四半期報告書および「Quarterly Financial Supplement」に付加的な財務情報が掲載されています。

2018年第4四半期（10月1日～12月31日） 純利益から調整済営業利益への調整（連結ベース）

（数値は未監査）

	単位：\$1,000（一株当たり数値を除く）			
	2018年第4四半期		2017年第4四半期	
		希薄化後 一株当たり 利益		希薄化後 一株当たり 利益
GAAP純利益(損失)	\$ 110,039	\$ 1.72	\$ 1,216,888	\$ 18.49
キャピタル（ゲイン）ロス、デリバティブ他（正味） （資産運用関連（収益）損失に含まれる）	25,067	0.39	17,806	0.28
キャピタル（ゲイン）ロス、留保資産 （資産運用収益に含まれる）	(24)	-	(2,036)	(0.03)
繰延デリバティブ： 資産運用関連（収益）損失（正味）に含まれる	87,397	1.36	(34,787)	(0.53)
投資利息に含まれる	9,655	0.15	(2,337)	(0.04)
繰延新契約費（正味）	(9,874)	(0.15)	14,449	0.22
ユニットリンク型変額年金投資収益	8,324	0.13	(3,108)	(0.05)
ユニットリンク型変額年金投資利息	(8,324)	(0.13)	3,108	0.05
投資性のない為替デリバティブ	(160)	-	27	-
連邦税率変更	(349)	(0.01)	(1,039,111)	(15.79)
調整済営業利益（損失）	\$ 221,751	\$ 3.46	\$ 170,899	\$ 2.60

一株当たり簿価（「その他の包括利益累計額を含む」から「その他の包括利益累計額を除く」への調整）

	12月末時点	
	2017年	2016年
一株当たり簿価（その他の包括利益累計額を含む）	\$ 148.48	\$110.31
為替換算調整累計額	(1.60)	(2.68)
有価証券未実現益（損）	31.85	21.07
退職年金・給付	(0.65)	(0.67)
一株当たり簿価（その他の包括利益累計額を除く）	\$ 118.88	\$ 92.59